## 高等学校における情報教育実施状況全国調査

報告書

平成 23 年 4 月

実施代表者

広島国際学院大学情報デザイン学部

若林 義啓

## 目 次

## 【基本項目】

設問2	PC 教室のPC は、授業時間以外でも生徒が自由に利用できる環境にありますか?
設問 3	<ul><li>日常業務に利用するための高校の設備として、常勤教員1人1台PCが用意されていますか?</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>4</li><li>6</li><li>6</li><li>7</li><li>8</li><li>9</li><li>1</li><li>1</li><li>2</li><li>3</li><li>4</li><li>4</li><li>6</li><li>7</li><li>7</li><li>8</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li><li>9</li></ul>
設問 4	教科「情報」の3科目「情報 A」、「情報 B」、「情報 C」は主にどの学年で実施していますか?
【情報	<b>教育に対する負担</b> 】
設問 6-1	教科「情報」以外に他教科の授業を担当していますか?5 1 教科「情報」の教科担当について、どの程度負担を感じていますか?5 2 それはなぜですか? 差し支えなければ理由を教えてください。6
【授業	内容】
設問7	平成 25 年度より、新学習指導要領の実施が予定されていますが、情報教育の内容見直しを検討していますか?
設問8	教科「情報」をどのような教科として位置づけていますか? 率直な考えを教えてください。
設問 9	**** ***** *** *** *** *** *** *** ***
設問 12	実習 1 コマあたり、何名の教員で担当していますか?
	ますか?
設問 15	に関する学習内容を考慮していますか?11 -1 教科「情報」で取り扱っている内容を全て選択して下さい。11
	-2 設問 15-1 で選択した内容のうち、授業展開の作成が難しいと感じている内容 を挙げて下さい。
設問 16	3 教科「情報」を通じて、どのようなこと(技能や意識)を生徒に伝えたいと考えていますか? できるだけ具体的に教えてください。
設問 17	'教科「情報」の教育内容を考えた場合、大学や専門学校ではどのような情報教育を行う必要があると考えますか?できるだけ具体的に教えてください。 13
設問 18	-1 教科「情報」以外の授業で、(一般) 教員が PC を利用して授業を行うことは

ありますか?14
設問 18-2 教科「情報」以外のどの授業で、教員が PC を利用していますか? 14
設問 19 授業中(授業準備を除く)以外で、(一般)教員が PC を利用する場面はありま
すか?15
設問 20-1 教科「情報」以外の授業で、生徒が PC を利用する場面を設定していますか?
設問 20-2 教科「情報」以外のどの授業で、生徒が PC 利用していますか?16
設問 21 授業中以外で、生徒が PC を利用する場面はありますか? 16
【大学との繋がり】
【八子との来がり】
設問22 大学や専門学校のコンピュータ環境を使った教科「情報」の特別講義があれば、
生徒に受講させたいと思いますか?17
設問 23 教科「情報」担当教員向けに、大学や短期大学へ出張する形態の情報教育の研
修講座や情報交換できる場があれば、参加したいと思いますか?17
設問 24 教科「情報」担当教員向けに、大学や短期大学の教員が高校に出向く形態の情
報教育の研修講座や情報交換できる場があれば、参加したいと思いますか?.18
設問 25-1 情報教育について、大学や専門学校と連携した取り組みを行ったことがあり
ますか、または、現在行っていますか?18
問 25-5 今後も積極的に連携を行って行きたいと考えていますか? 19
設問 26 貴校の情報教育環境として、今後最も望まれる環境整備はどれですか? 一番
望む1つを選択してください。19
【使用教科書】
設問 28-1 教科「情報」で使用されている教科書についてお伺いします。 20
設問 28·3 授業において、どの程度教科書を活用していますか?22
設問 29 配付資料など教科書以外の補助教材を使用していますか?22

## アンケート調査の実施概要

#### I. 「高等学校 普通教科「情報」に関するアンケート調査」の目的

平成 15 年度から実施された新学習指導要領において、高等学校の普通科に教科「情報」が設置され、情報教育の必修化が始まりました。これによって、「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」の 3 つの要素を身につけさせる、情報活用能力の育成が唱えられるようになっています。

私たちは、情報教育の今後のあり方を探る研究を続ける中で、高等学校で行われている情報教育と大学入学後に行われる情報基礎教育との繋がりを重視していくべきであるとの視点から、高等学校で行われている情報教育について全国調査することといたしました。その際、教育としての情報教育に対する考え方について詳細に把握するために、担当教員からの回答を得ることが重要であるとの考えに至り、調査を依頼することとしました。

### 1. 調査の内容

アンケート調査は、実際に教科「情報」を担当する教員に直接回答いただくという 形式にしました。調査内容は、「教育環境」、「教育内容」、「高大連携」、「授業負担」に ついて分類し調査を行いました。

#### 2. 調査の対象と方法

全国の教科「情報」を実施する公立高等学校約3000校のうち各県からの抽出割合が 均一となるよう配慮しながら無作為に1500校を抽出し、「アンケート協力」を依頼し ました。印刷したアンケート用紙よる郵送回答をお願いする形式とWeb上のアンケー トフォームよる回答をお願いする形式の2通りの回答形式を用意しました。

#### 3. 調査年月日

平成 22 年 9 月 1 日~10 月 31 日

### II. 集計結果

#### 1. 回答状況

アンケート発送数 ························1500 通(1500 校) 回答数 ··················390 名(355 校)

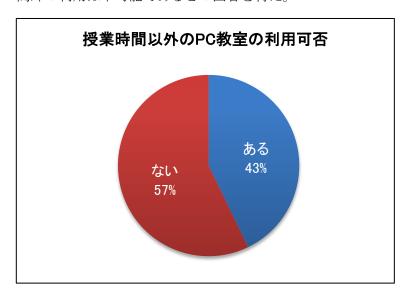
回収率 …………26.0%

※回答は、郵送返却と WEB 回答からどちらかを選択できるようにした。また、各校の教科「情報」担当者全員にアンケートを依頼した。

## 【基本項目】

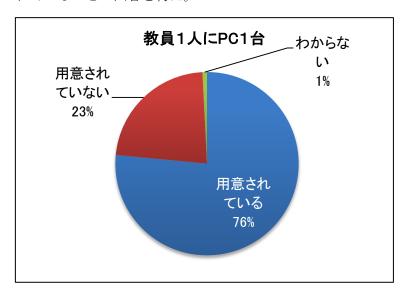
#### 設問 2 PC 教室の PC は、授業時間以外でも生徒が自由に利用できる環境にありますか?

376 回答中、43%に当たる 161 回答で時間外の利用は可能、57%に当たる 215 回答で時間外の利用は不可能であるとの回答を得た。



## 設問3 日常業務に利用するための高校の設備として、常勤教員1人1台PCが用意されていますか?

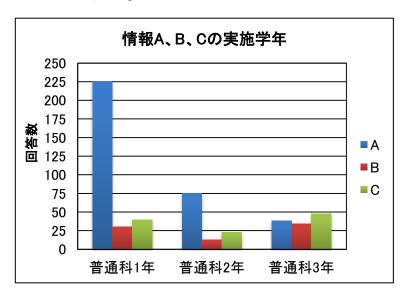
375 回答中、76%に当たる 287 回答で用意されており、23%に当たる 85 回答で用意されていないとの回答を得た。



# 設問 4 教科「情報」の3科目「情報 A」、「情報 B」、「情報 C」は主にどの学年で実施していますか? (複数回答可)

教科「情報」の実施状況として、1年生で「情報 A」を行っているとした回答が 225 回答と最も多く、学年が上位になるにしたがって、「情報 B」、「情報 C」の実施割合が増加

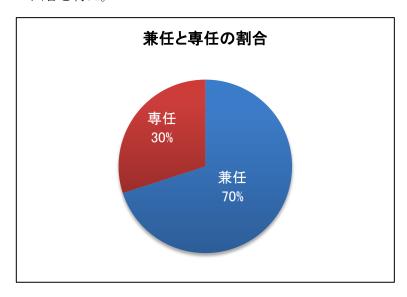
していた。また、A、B、C 別の実施割合は、A が 64% と最も多く、次いで C の 21%、B の 15%であった。



## 【情報教育に対する負担】

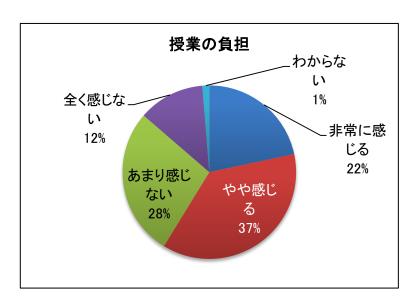
## 設問 5 教科「情報」以外に他教科の授業を担当していますか?

387 回答中、70%にあたる 271 回答が他教科との兼任、30%にあたる 116 回答が専任との回答を得た。

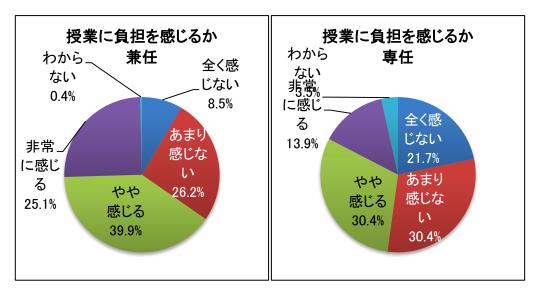


### 設問 6-1 教科「情報」の教科担当について、どの程度負担を感じていますか?

負担を感じている回答グループの「非常に感じる」が 22%、「やや感じる」が 37%と全体の 59%が負担を感じており、負担を感じていない回答グループの「あまり感じない」が 28%、「全く感じない」が 12%と全体の 40%が負担を感じていないことがわかった。

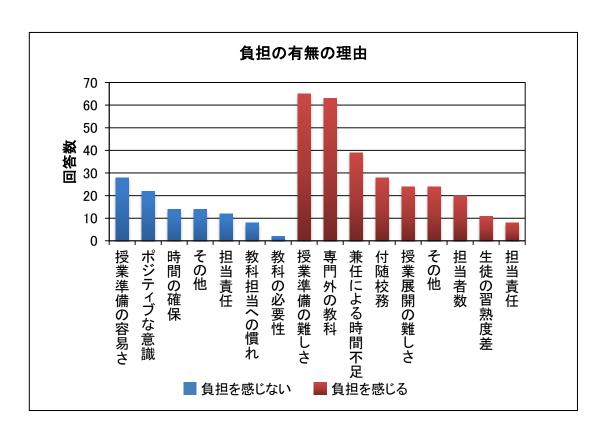


設問5の専任と兼任で感じる負担の度合いに差があるかを比較し、χ²検定を行ったところ1%水準で有意差が見られ、兼任の方が専任よりも負担を感じていることがわかった。



### 設問 6-2 それはなぜですか? 差し支えなければ理由を教えてください。

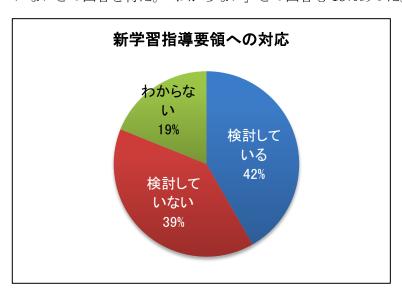
教科担当に対する負担の有無の理由を、「負担を感じる」グループと「負担を感じない」グループに分けてまとめた。「負担を感じない理由」は、100 回答中、「授業準備の容易さ」が 28 回答と最も多く、次いで「ポジティブな意識」が 22 回答となっている。「負担を感じる理由」は、282 回答中、「授業準備の難しさ」が 65 回答、「専門外の教科」が 63 回答とこの 2 つの理由が群を抜いて多く、次いで「兼任による時間不足」が 39 回答であった。担当者にとって、講義と実習が混じりあうため、教材研究が難しく、かつ、負担の要因も多岐にわたる教科であることが伺えた。



## 【授業内容】

## 設問7 平成25年度より、新学習指導要領の実施が予定されていますが、情報教育の内容 見直しを検討していますか?

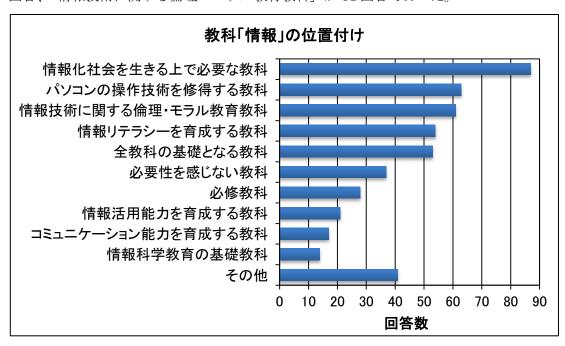
386 回答中、42%にあたる 161 回答で検討している、39%に当たる 152 回答で検討していないとの回答を得た。「わからない」との回答も 19%あった。



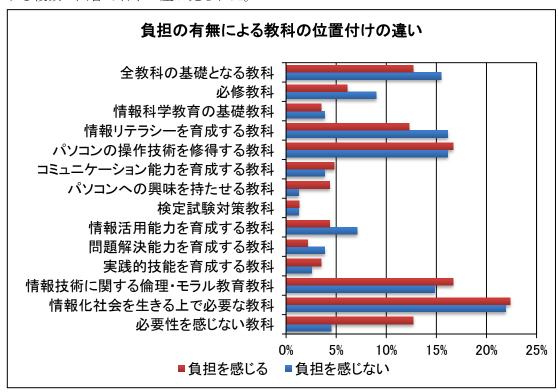
# 設問8 教科「情報」をどのような教科として位置づけていますか? 率直な考えを教えてください。

自由記述の回答をまとめた結果、476回答中(複数回答)、「情報化社会を生きる上で必

要な教科」が87回答と最も多く、次いで「パソコンの操作技術を習得する教科」が63回答、「情報技術に関する倫理・モラル教育教科」が61回答であった。



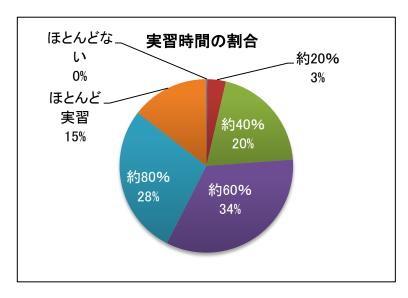
設問 6-1 の教科担当に負担を感じることで意識に違いがあるか、負担を感じるグループ と負担を感じないグループで教科の位置づけを比較した。その結果、教科の必要性に関 する複数の回答で若干の差が見られた。



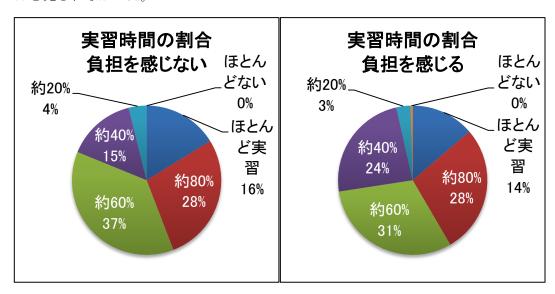
設問9 教科「情報」全体のうち、実習時間が占める割合はどれくらいですか?

386 回答中、34%にあたる 130 回答で授業全体の 60%を実習に、全回答の 28%にあた

る 108 回答で授業全体の 80%を実習に、全回答の 20%にあたる 78 回答で授業全体の 80%を実習に充てており、傾向として実習主体の授業を行っていることがわかった。

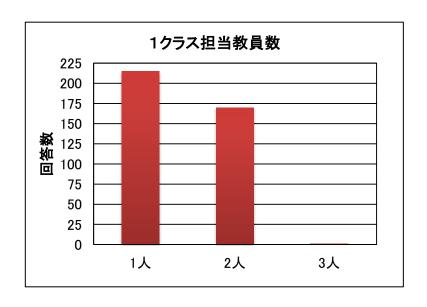


設問 6-1 の教科担当に負担を感じていると回答したグループと負担を感じていないと回答したグループで、実習時間に関する授業形態に差があるか比較したところ、差はほとんど見られなかった。



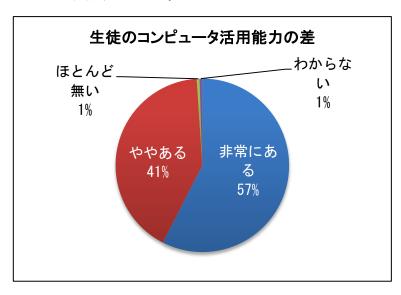
### 設問 10 実習 1 コマあたり、何名の教員で担当していますか?

実習を 1 人で担当している場合が 215 と最も多く、2 人で担当している場合は 170 であった。また、1 クラスの生徒数は、40 人が最も多かった。



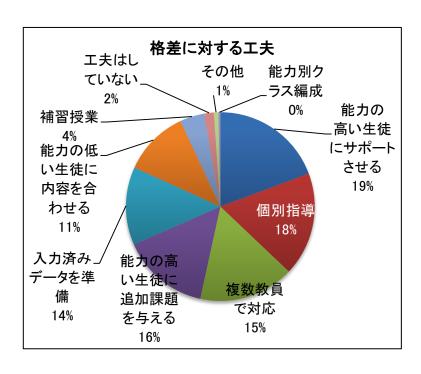
## 設問 12-1 実習において、生徒間でコンピュータ活用能力に差があると思いますか?

「非常にある」「ややある」を合わせると、98%の教員が、活用能力の「格差」を感じているという結果となった。



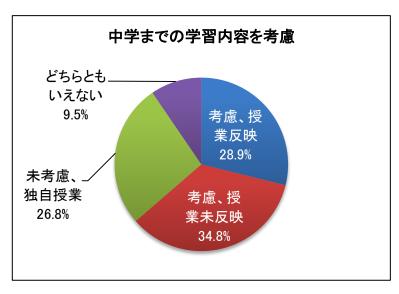
# 設問 12-2 コンピュータ活用能力の格差に対して、授業展開でどういった工夫をしていますか? (複数回答可)

活用能力格差に対する工夫としては、「能力の高い生徒にサポートさせる」が 19.3%と最も多く、次いで、「個別指導」(17.8%)、「能力の高い生徒に追加課題」(16.3%)であった。



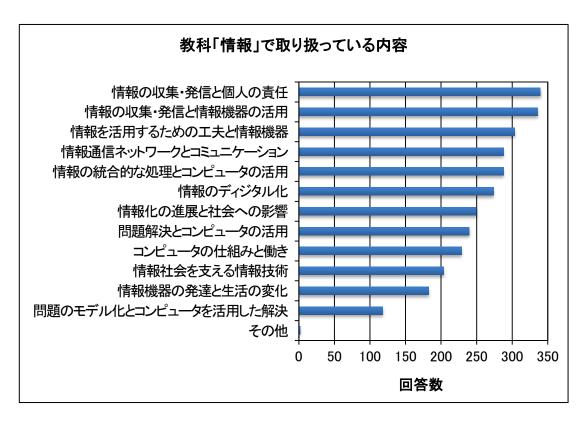
## 設問 13 教科「情報」の授業内容を考える際、生徒が中学卒業までに習得してきた情報に 関する学習内容を考慮していますか?

388 回答中、「考慮し、かつ授業内容にも反映させて(できて)いる」教員は 28.9%と 3 割にも満たなかった。「考慮せず、独自の教育内容を設定している」教員も 26.8% おり、情報教育の中・高連携の難しさが明らかとなった。



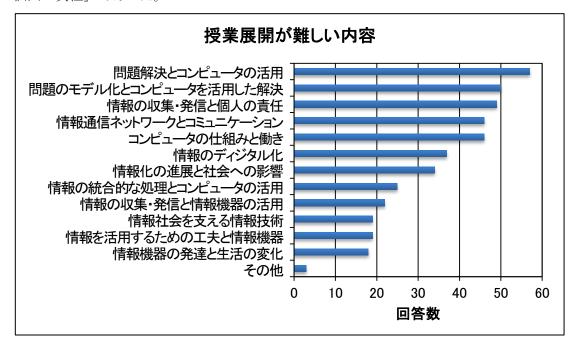
### 設問 15-1 教科「情報」で取り扱っている内容を全て選択して下さい(複数回答可)。

3056 回答中、「情報の収集・発信と個人の責任」、「情報の収集・発信と情報機器の活用」、「情報を活用するための工夫と情報機器」の3つが回答数300以上と多く扱われていた。 次いで、「情報の統合的な処理とコンピュータの活用」、「情報通信ネットワークとコミュニケーション」が共に288回答となっていた。



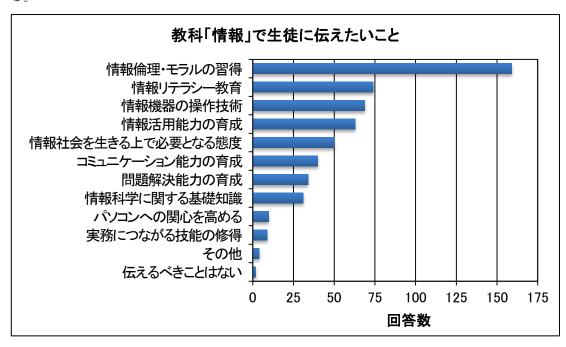
設問 15-2 設問 15-1 で選択した内容のうち、授業展開の作成が難しいと感じている内容を 挙げて下さい(複数回答可)。

425 回答中、57 回答が「問題解決とコンピュータの活用」と最も多く、次いで 50 回答が「問題のモデル化とコンピュータを活用した解決」、49 回答が「情報の収集・発信と個人の責任」であった。



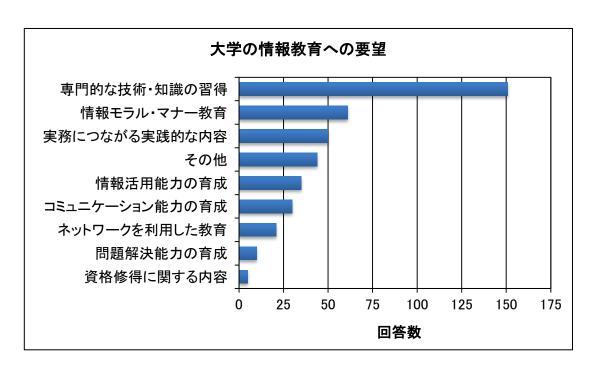
## 設問 16 教科「情報」を通じて、どのようなこと(技能や意識)を生徒に伝えたいと考えていますか? できるだけ具体的に教えてください。

自由記述の解答をまとめた結果、545 回答中(複数回答)、「情報倫理・モラルの習得」が 159 回答と圧倒的に多く、次いで「情報リテラシー教育」が 74 回答、「情報機器の操作技術」が 69 回答、「情報活用能力の育成」が 63 回答であった。担当教員の多くが生徒の「情報モラル」に危機感を持ち、情報モラル教育を重点的に行っていることが伺える。



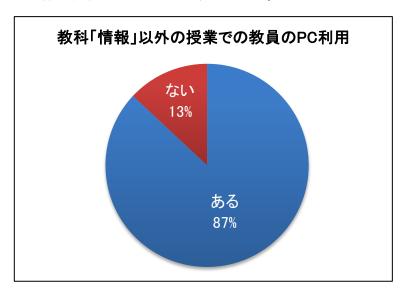
## 設問 17 教科「情報」の教育内容を考えた場合、大学や専門学校ではどのような情報教育 を行う必要があると考えますか?できるだけ具体的に教えてください。

自由記述の解答をまとめた結果、407回答中(複数回答)、「専門的な技術・知識の習得」が 151回答と圧倒的に多く、次いで「情報モラル・マナー教育」が 61回答、「実務につながる実践的な内容」が 50回答であった。担当教員の多くが大学では高度で専門的な情報教育や仕事につながる実践的な内容を期待していることが伺える。



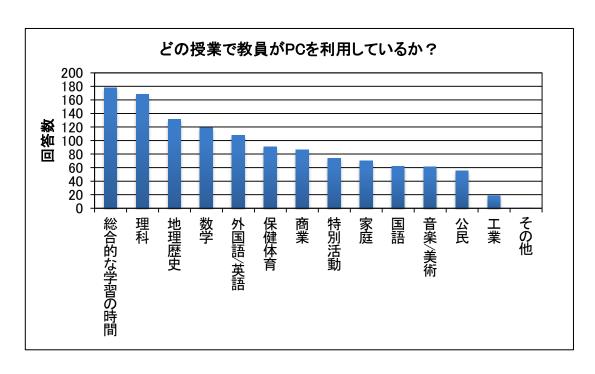
設問 18-1 教科「情報」以外の授業で、(一般) 教員が PC を利用して授業を行うことはありますか?

384 回答中、334 回答(87%)の教員が、教科「情報」以外の教科でパソコンを利用した授業を行うことがあると回答していた。



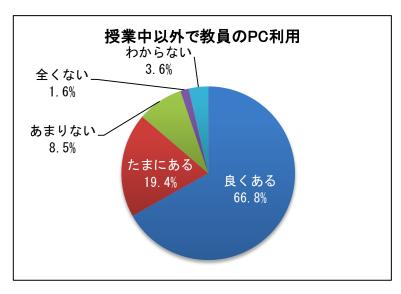
### 設問 18-2 教科「情報」以外のどの授業で、教員が PC を利用していますか?

延べ回答数 1222 中、「総合的な学習の時間」が回答数 178 と最も多かった。次いで、「理科」(回答数 168)、「地理歴史」(回答数 131)、「数学」(回答数 119)であった。教科「情報」は、他教科との兼任での担当が多く、1 人の教員が主担教科の中で利用している場合が多いのではないかと考えられる。



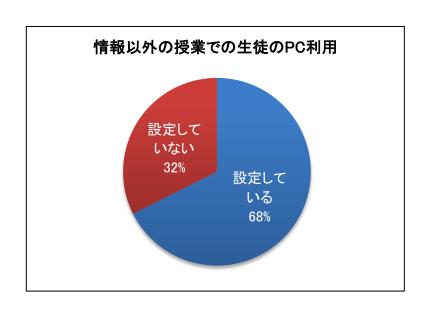
設問 19 授業中(授業準備を除く)以外で、(一般)教員が PC を利用する場面はありますか?

386 回答中、「良くある(258)」「たまにある(75)」を合わせると、85.2%の教員が、日常的に PC を利用していた。一方で、「あまりない(33)」「全くない(6)」教員も 10.1% 居ることがわかった。



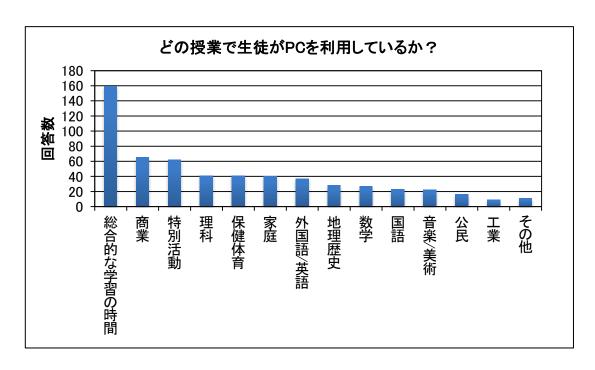
設問 20-1 教科「情報」以外の授業で、生徒が PC を利用する場面を設定していますか?

回答数 383 中、259 (68%) 名の教員が、教科「情報」以外の授業で生徒が PC を利用する場面を設定していると回答している。生徒にとって、授業時間外でも PC 利用できる環境は、PC を積極的に利用していこうとする気持ちの育成に繋がると考えられる。



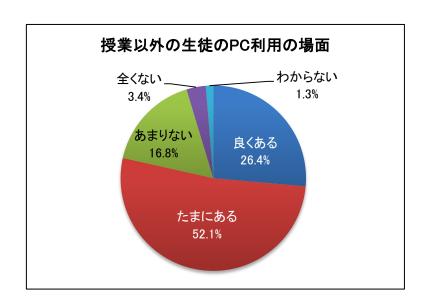
#### 設問 20-2 教科「情報」以外のどの授業で、生徒が PC 利用していますか?(複数回答可)

延べ回答数 581 中、「総合的な学習の時間」が回答数 159 と最も多かった。次いで、「商業」(回答数 65)、「特別活動」(回答数 62)、「理科」(回答数 41)と続いている。中には、「保健体育」(回答数 41)、「音楽/美術」(回答数 22)といった回答もあった。PC 利用の機会を持たせようとする教員の努力が汲み取れる結果であった。



#### 設問 21 授業中以外で、生徒が PC を利用する場面はありますか?

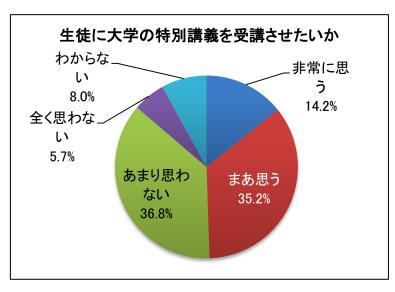
「良くある」「たまにある」を合わせると 78.5%で授業以外に生徒が PC を利用する場面があるとの回答であった。利用場面が用意されていることで、PC を利用する際の敷居が低くなり、利用しやすい環境が整っていると言える。一方で、セキュリティの面からか、「全くない」との回答も 3.4%あった。



## 【大学との繋がり】

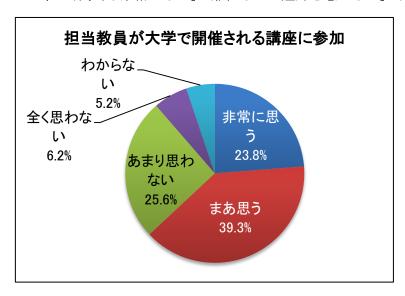
## 設問 22 大学や専門学校のコンピュータ環境を使った教科「情報」の特別講義があれば、 生徒に受講させたいと思いますか?

「非常に思う」「まあ思う」を合わせると 49.4%と、半数近くの教員が、受講させたいと回答している。その理由として、「大学での教育を体験させたい」「より実践的な情報教育に触れさせたい」といったものが挙げられていた。一方、「あまり思わない」「全く思わない」とした回答も 42.5%あった。理由としては、「時間的な余裕がない」「受験に必要ない教科なので」といったものが挙げられていた。



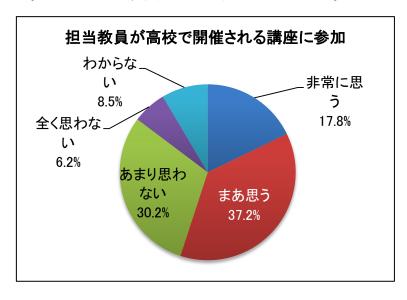
## 設問 23 教科「情報」担当教員向けに、大学や短期大学へ出張する形態の情報教育の研修 講座や情報交換できる場があれば、参加したいと思いますか?

「非常に思う」「まあ思う」を合わせると、63.1%の教員が、参加したいと考えていた。 理由として、「授業に使える新しい知識の獲得」「他校との情報交換」などが挙げられて いた。一方、「あまり思わない」「全く思わない」とした回答も 31.8%あった。理由としては、「時間的な余裕がない」「兼任なので魅力を感じない」などが挙げられていた。



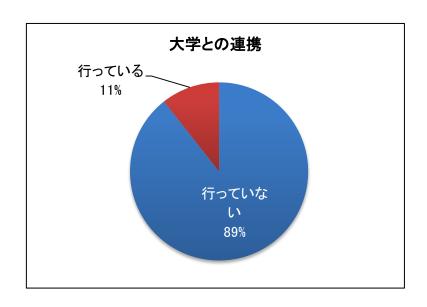
## 設問 24 教科「情報」担当教員向けに、大学や短期大学の教員が高校に出向く形態の情報 教育の研修講座や情報交換できる場があれば、参加したいと思いますか?

「非常に思う」「まあ思う」を合わせると、55.0%の教員が、参加したいと考えていた。 理由として、「他の教員に重要性を伝えたい」「出張しないのであれば参加したい」など が挙げられていた。一方、「あまり思わない」「全く思わない」とした回答も 36.4%あっ た。理由としては、設問 23 と同様な内容であった。



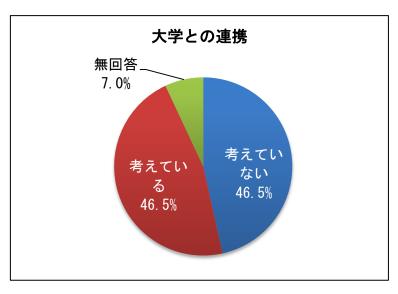
# 設問 25-1 情報教育について、大学や専門学校と連携した取り組みを行ったことがありますか、または、現在行っていますか?

89%が「行っていない」と回答し、連携した取り組みはほとんど行われていないという 結果となった。



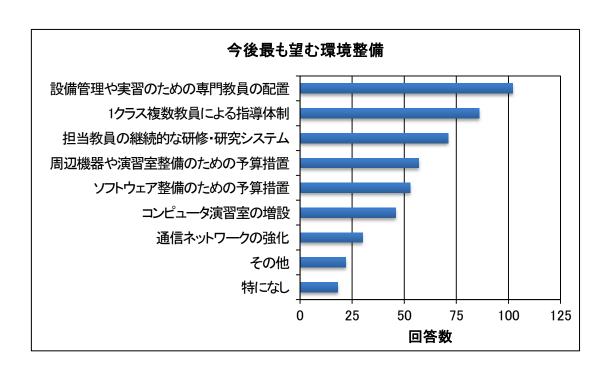
#### 問 25-5 今後も積極的に連携を行って行きたいと考えていますか?

大学との連携を行ったことがある場合でも今後も連携を行っていきたいと回答したのは 46.5%であった。連携によって得られたメリットとして、「意識の高い生徒の意欲が向上 した」「大学の教育の理解に繋がった」「授業展開の参考になった」などが挙げられていた。



## 設問 26 貴校の情報教育環境として、今後最も望まれる環境整備はどれですか?

485 回答中(複数回答含む)、102 回答が「情報機器の管理や実習のための専門教員の配置」、次いで86 回答が「1 クラス複数教員による指導体制(情報教育担当教員の増員)」、71 回答が「「情報」担当教員の継続的な研修・研究システムの確立」であった。その他の回答中、「専任教員の配置」が10 回答あった。教員の補充や自身のスキルアップを望む声が多く、担当教員の負担が重いと感じていることがわかった。



## 【使用教科書】

設問 28-1 教科「情報」で使用されている教科書についてお伺いします。

## ● 情報 A

060実教育出版株式会社高校情報 A870061実教育出版株式会社最新情報 A870068株式会社第一学習社高等学校 三訂版 情報 A870059東京書籍株式会社情報 A Step Forward!870066数研出版株式会社三訂版 情報 A ようこそ情報の世界へ870067日本文教出版株式会社新・情報 A 情報社会への招待870042日本文教出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林 館高等学校 情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版 情報 A 情報の活用と実践870063教育出版株式会社新版 情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版 情報 A870063有出版株式会社新版 情報 A870064一橋出版株式会社精報 A870	110 100				
061実教育出版株式会社最新情報 A870068株式会社第一学習社高等学校 三訂版 情報 A870059東京書籍株式会社情報 A Step Forward!870066数研出版株式会社三訂版 情報 A ようこそ情報の世界へ870067日本文教出版株式会社新・情報 A 情報社会への招待870042日本文教出版株式会社情報 A870002実教育出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林 館高等学校 情報 A 最新版870065開隆堂出版株式会社新版 情報 A 情報の活用と実践870063教育出版株式会社新版 情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版 情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	教番	発行所	教科書名	定価	回答数
068株式会社第一学習社高等学校 三訂版 情報 A870059東京書籍株式会社情報 A Step Forward!870066数研出版株式会社三訂版 情報 A ようこそ情報の世界へ870067日本文教出版株式会社新・情報 A 情報社会への招待870042日本文教出版株式会社情報 A870002実教育出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版 情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版 情報 A870063教育出版株式会社新版 情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	060	実教育出版株式会社	高校情報 A	870	66
059東京書籍株式会社情報 A Step Forward!870066数研出版株式会社三訂版 情報 A ようこそ情報の世界へ870067日本文教出版株式会社新・情報 A 情報社会への招待870042日本文教出版株式会社情報 A870002実教育出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版 情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版 情報 A870063教育出版株式会社新版 情報 A870068一橋出版株式会社情報 A870	061	実教育出版株式会社	最新情報 A	870	56
066数研出版株式会社三訂版 情報 A ようこそ情報の世界へ870067日本文教出版株式会社新・情報 A 情報社会への招待870042日本文教出版株式会社情報 A870002実教育出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林館高等学校情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林館高等学校情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版情報 A870063教育出版株式会社新版情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	068	株式会社第一学習社	高等学校 三訂版 情報 A	870	38
067日本文教出版株式会社新・情報 A 情報社会への招待870042日本文教出版株式会社情報 A870002実教育出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林館高等学校情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林館高等学校情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	059	東京書籍株式会社	情報 A Step Forward!	870	35
042日本文教出版株式会社情報 A870002実教育出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版 情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版 情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	066	数研出版株式会社	三訂版 情報 A ようこそ情報の世界へ	870	22
002実教育出版株式会社Welcome to 'IT' 情報 A870036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版 情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林館高等学校 情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版 情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	067	日本文教出版株式会社	新・情報 A 情報社会への招待	870	22
036実教育出版株式会社Create information 新版情報 A870064株式会社新興出版社啓林館高等学校情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林館高等学校情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	042	日本文教出版株式会社	情報 A	870	16
064 株式会社新興出版社啓林 館 高等学校 情報 A 最新版 870   062 開隆堂出版株式会社 新版 情報 A 情報の活用と実践 870   065 株式会社新興出版社啓林 館 高等学校 情報 A 改訂版 870   063 教育出版株式会社 新版 情報 A 870   008 一橋出版株式会社 情報 A 870	002	実教育出版株式会社	Welcome to 'IT' 情報 A	870	13
064 館高等学校 情報 A 最新版870062開隆堂出版株式会社新版 情報 A 情報の活用と実践870065株式会社新興出版社啓林 館高等学校 情報 A 改訂版870063教育出版株式会社新版 情報 A870008一橋出版株式会社情報 A870	036	実教育出版株式会社	Create information 新版情報 A	870	8
065 株式会社新興出版社啓林 館 高等学校 情報 A 改訂版 870   063 教育出版株式会社 新版 情報 A 870   008 一橋出版株式会社 情報 A 870	064		高等学校 情報 A 最新版	870	6
065 館 高等学校 情報 A 改訂版 870   063 教育出版株式会社 新版 情報 A 870   008 一橋出版株式会社 情報 A 870	062	開隆堂出版株式会社	新版 情報 A 情報の活用と実践	870	5
008 一橋出版株式会社 情報 A 870	065		高等学校 情報 A 改訂版	870	5
	063	教育出版株式会社	新版 情報 A	870	3
040 nt 1111C+4-2-0-1-1	008	一橋出版株式会社	情報 A	870	2
010   暁出版株式会社   情報 A Living In IT World! /90	010	暁出版株式会社	情報 A Living in IT World!	790	1

## ● 情報 B

教番	発行所	教科書名	定価	回答数
069	実教育出版株式会社	最新情報 B	870	29
073	日本文教出版株式会社	新・情報 B 探求する楽しさ	870	9
070	開隆堂出版株式会社	新版 情報 B 情報の科学的な理解	870	7
072	数研出版株式会社	三訂版 情報 B 情報の世界のしくみ	870	6
071	株式会社新興出版社啓林	高等学校 情報 B 最新版	870	3
	館		670	
046	教育出版株式会社	情報B	870	2
074	株式会社第一学習社	高等学校 三訂版 情報 B	870	2
014	実教育出版株式会社	The View of Science 情報 B	870	1
044	実教育出版株式会社	Information & Solution 新版情報 B	870	1

## ● 情報 C

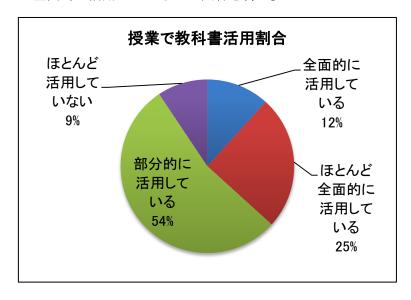
教番	発行所	教科書名	定価	回答数
075	実教育出版株式会社	最新情報 C	870	35
079	日本文教出版株式会社	新・情報 C 豊かなコミュニケーション	870	13
080	株式会社第一学習社	高等学校 三訂版 情報 C	870	12
076	開隆堂出版株式会社	新版 情報 C 情報社会を生きる	870	11
078	数研出版株式会社	三訂版 情報 C 広がる情報の世界	870	8
050	実教育出版株式会社	Communication & Collaboration 新版 情報 C	870	5
023	実教育出版株式会社	Network Communication 情報 C	870	4
052	教育出版株式会社	情報C	870	4
077	株式会社新興出版社啓林館	高等学校 情報 C 最新版	870	2

## ● 情報

教番	発行所	教科書名	定価	回答数
033	実教育出版株式会社	Multimedia & Communication 情報と 表現	690	9
032	実教育出版株式会社	Information Technology 情報産業と社会	1305	2
035	実教育出版株式会社	コンピュータデザイン	875	2
034	実教育出版株式会社	情報システムの開発	870	1
057	実教育出版株式会社	ネットワークシステム	1080	1

## 設問 28-3 授業において、どの程度教科書を活用していますか?

384 回答中、207 回答(54%)の教員が部分的に活用しており、96 回答(25%)の教員が全面的に活用しているとの回答を得た。



設問 29 配付資料など教科書以外の補助教材を使用していますか?

385回答中、324回答(84%)の教員が補助教材を使用していることがわかった。

